

草津温泉は、東京からバスで3時間半もかかる関東平野の最奥の山峡にあります。

にもかかわらず、毎年多くの観光客が訪れます。

温泉街には数多の旅館がひしめき、高級旅館から企業の保養所、リゾートホテルから日帰り入浴施設、外湯も数多くあります。

最近、湯畑の周辺では再開発が完了し、「御座之湯」「熱乃湯」「湯路広場」などの時代毎の外湯がリニューアルしました。

その光景は、まさに一大温泉リゾートといえます。それを支えているのが、豊富な湯量です。

毎分3,600リットルもの源泉は、すべて自噴（動力を用いない自然湧水）で、ほかを圧倒する日本一の自然湧出湯量だといいます。

草津温泉 <群馬県> 山峡に広がる巨大な温泉リゾート

まちあるきの考古学



僻地の湯治場が栄えたのは 強力な酸性泉



草津温泉は群馬県北西部にあり、白根火山に関する強酸性泉の温泉地です。

江戸後期、「草津千軒江戸構え」と謳われるほど、大きな湯屋が建ち並び、多くの湯治客が草津を訪れました。

江戸から遠い僻地の温泉地が繁栄したのは、草津温泉の効能にありました。

温泉には神経痛、筋肉痛、関節痛などの疼痛緩和の効果がありますが、草津温泉の強力な酸性泉は殺菌力をもっていました。

当時、外傷から感染症になることが多く、皮膚炎が悪化して死に至ることもありました。草津で湯に浸ることは、効果的な治療法だったのです。

細菌や抗生物質などが知られていない時代、その効能は神秘的なものと思えられたようで、草津には全国から湯治客が訪れたようです。

明治末には東京から渋川までの鉄道が開通、昭和元年には、軽井沢との間に軽便鉄道が開通して、より多くの湯治客が山峡の地に足を運びました。

戦後は、天狗山に日本初のスキーリフト、そして白根山ロープウェイができてスキー客が増加するなど、草津温泉は、長期湯治の温泉場から観光型の温泉に変貌していきます。

昭和50年、万代鉱源泉の利用(4,700L/分)が始まり、温泉の規模が一気に拡大します。

これに伴い、草津町では、旅館が個別に設けていた引湯樋を統合し、源泉を集中管理して各戸に配分するようになります。これにより、温泉街から離れた高台でも温泉の配分を受けられるようになり、大型のホテルが続々と建設されていきます。



巨大な温泉街を支える豊かな湯量



草津温泉の源泉には3つの特徴があります。

一つは、自然湧出量(自噴)の多さです。

毎分約36,000リットルは、圧倒的な日本一の湯量を誇ります。日本全国の自噴湧出量が70～80万リットルなので、草津温泉だけで全国の約5%を占めていることになります。湯畑にある「滝湯」は草津の豊富な湯量の象徴といえます。

二つめは、泉温です。

源泉温度が49～55℃であり、少し冷ますことで適温となります。加熱する(沸かす)必要もなく、加水して冷ますほどでもない、まさに温泉に適した泉温なのです。

三つめが、強酸性(PH2.1)の高い殺菌能力です。

これが昔からの人気の理由であることはすでに述べました。

※昭和期に発見された万代源泉は、江戸時代からの主力源泉とは違い、湧出量が極めて多く、PH1.7とさらに酸性で、源泉温度も95℃以上もあります。

温泉法による温泉の定義は以下の2つです。

- ①源泉温度が25℃以上であること
- ②19の特定の成分(リチウムイオン、水素イオン、重碳酸ソーダ等)が1つ以上規定値に達しているもの

つまり、源泉温度が25℃以上あるか、それより冷たくても、特定成分が入っていれば、「温泉」と名乗れるのです。

全国の「温泉」には、温泉法には合致するもの、とても温泉とは呼べないものが多くありますが、草津温泉は、まさに本物の温泉であるといえます。

西から東に傾斜する草津温泉の地形 湯川沿いに自噴する源泉たち

草津温泉は、草津白根山の東麓、標高1100～1200mの高台に位置しています。

地形は浅い谷状で、西から東へ向かって傾斜しており、その谷筋に「湯川」が流れています。

湯川は、温泉水を含みながら流れ下り、温泉街手前の「西の河原公園入口」付近で一度地下に潜りますが、温泉街を過ぎた「大滝乃湯」の手前で再び地上に出ています。

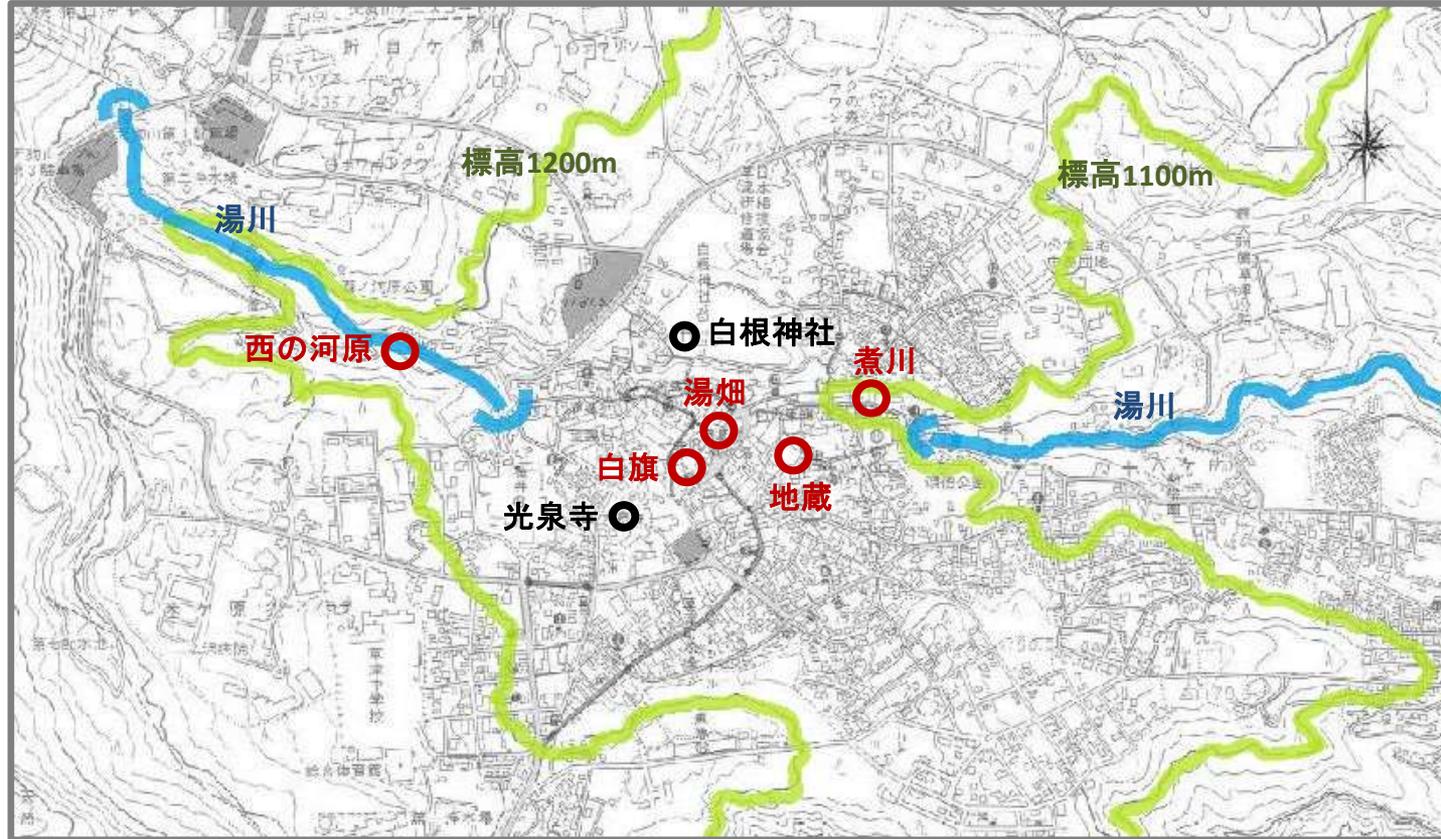
草津温泉には、昔からの主力源泉が5つあります。

- ・湯畑 ・白旗 ・西の河原
- ・煮川 ・地蔵源泉

これらの源泉は、湯川沿いに湧出しています。

湯畑の周辺も、その部分だけが陥没したような地形になっていて、湯畑を取り囲むように旅館や土産店などが建ち並んでいます。

湯川の流路が、草津温泉の源泉と深く関係しているのです。



湯畑から続く 白根神社と光泉寺への石段
湯畑が谷筋にあることが分かる

西の河原の湯川 ⇒

↓ 湯川は一度地下に潜る



付近のまちあるき
宇都宮 長野 新潟